

鉄道と湖北情景一瞬捉え

湖北地方や周辺の鉄道風景とエッセーを収めた写真集「湖北旅情」を、高島市の男性が出版した。「地元に住んでいないと撮れない写真」を目指したといい、虹を背景にした列車や伊吹山麓を走る蒸気機関車など、四季折々の琵琶湖岸と鉄道の魅力を伝えている。

伊吹山麓走るSLなど100点

石角強さん(70)。2008年に撮影するようになった。写真文をつづった。年に退職して同市マキノ町に移住。集は12年ごろから撮影した作品を中心に、100点を厳選して、舞台は主に地元の高島市や長住後、地元の鉄道写真を本格的に、浜市で、空模様を見ながらシャ

ッターチャンスと思えば、すぐに現場に走ったという。アーチ状の虹を背景にした特急「サンダーバード号」を捉えた作品は「一瞬の出会い」と題し、数分間の感動を伝えている。県内最高峰の伊吹山と力強く走る「SL北びわこ号」のほか、長編成の貨物列車や15年3月に姿を消した特急「トワイライトエクスプレス」などを収録した。石角さんは「鉄道写真は気象と列車ダイヤという条件があり、頭で思い描いていても撮れそうに撮れない。そこがまた面白い」と話す。A4判で36ページ、1080円。ブイツーツリユーシオン刊。(二松啓紀)



写真集「湖北旅情」を刊行した石角さん



伊吹山を背景に力強く走る「SL北びわこ号」



虹を背景に走行する特急「サンダーバード号」